

地域づくり活動の行動計画

チームIPCH

2025年度

地域緩和ケア連携調整員研修（アドバンスコース）

【チームメンバー】

参加施設・所属	氏名(職種)
石川県立中央病院 緩和ケアチーム	黒川 勝 (医師)
石川県立中央病院 緩和ケアチーム	三辻 淳弥 (薬剤師)
石川県立中央病院 地域医療連携室	細畑 陽子 (看護師)

① 選定した地域の課題

- ・ ACPの内容を記録・共有できる仕組みは整備されているが、うまく活用されていない。
- ・ 遠方地区である能登、加賀からの入院患者の受け皿が少ない。療養場所をどうするか。
- ・ 遠方地区である能登、加賀の在宅ケアが整備されていない。

② どんな地域を目指すのか

- ・ ACPシートを活用し、望む療養が実現できる地域

③ 目指す地域を実現するために取り組むべきこと

- 必要な情報を含めたACPシートをどう作るか
- どの職種が患者の思いをどう吸い上げるか。
看護スタッフのIC同席。
- 多職種での情報共有ができるようにする。
- 能登、加賀地区にも連携が必要であり整備していく。

④ 具体的な行動計画と

- ・ワーキンググループ（すでにあり）でACPシートを作成する。
- ・連携パスの充実。パスにACPシートを加えていく。
- ・院内だけでなく院外への研修会、勉強会を開催して、ACPを広めていく

⑤ 目標達成時期

- ・今年度中に（令和8年3月までに）ACPシートの作成
- ・令和8年10月までにACPシートを作成後、研修会や勉強会の開催